

地域を守る！	▶普及啓発・人材育成	意識の向上、知識・ノウハウの普及を図る	この取組のポイント
037	リスクコミュニケーションとロゲイニングを組み合わせた防災ゲーム「逃げログ！」		✓ 楽しみながら「逃げ地図」の現地検証を行う ✓ まちのことをよく知ってもらい、効果的なリスクコミュニケーションを実施
取組主体		従業員数	想定災害
一般社団法人焼津青年会議所		49 名	地震等
			実施地域
			静岡県

一般社団法人焼津青年会議所は、リスクコミュニケーションとロゲイニングを組み合わせた防災ゲーム「逃げログ！」を開催した。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

リスクコミュニケーションと、まちを知ってもらう取組を掛け合わせた新たな防災ゲーム

- 安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の関係者が自然災害について理解を深め、そのリスクを共有して意思疎通を図るリスクコミュニケーションが重要である。リスクコミュニケーションを通じて、その地域の実態を踏まえた災害リスクが評価でき、災害への備えと災害発生時の行動を決めることができる。
- 一般社団法人焼津青年会議所は、リスクコミュニケーションを効果的に実施するためには「まちをよく知る」ことが重要だと考え、「逃げ地図」の持つリスクコミュニケーションの要素と、「ロゲイニング」の持つまちを知るための要素を組み合わせた、新しい防災ゲーム「逃げログ！」を実施した。
- 「逃げログ！」では、まずワークショップを行い、参加者に、避難上の問題点の抽出や対策法を話し合ってもらいながら逃げ地図を作成する。その後、作成した逃げ地図を用いて、フォトロゲイニングを行う。フォトロゲイニングでは、逃げ地図で設定した避難目標地点である、「指定津波避難ビル」、「津波避難タワー」をチェックポイントに設定し、チームごとの得点を競い合う。
- 競技性の高いロゲイニングを用いることで、楽しみながら、逃げ地図の現地検証を行い、参加者にまちのことをよく知ってもらう狙いがある。



逃げ地図作成の様子



フォトロゲイニングの様子

2 取組の平時における利活用の状況

他地域での開催時に参考となる「逃げログ！マニュアル」を公開

- 他の地域や団体で同様の取組を実施したいという声を受け、「逃げログ！マニュアル」を作成し、WEB で公開している。マニュアルは、開催規模にあわせて、フルバージョン（6 時間）とハーフバージョン（3.5 時間）を作成した。

3 現状の課題・今後の展開等

- 本イベントは、焼津市内の限定した地域のみを対象として開催したため、別の地域でも開催することを検討している。また、同様のイベントを開催したいという県内外の自治体、団体に対して、サポートを行う予定としている。

担当者の声



イベントを通じて、防災や災害に対する参加者の意識を変革

- 海を中心に発展してきた焼津市では、津波に備えるために避難タワーや避難ビルの整備が行われています。有事の際に、これらをどのように活用することが有効なのか、市民の皆さんに体感してもらうためにイベントを開催しました。
- イベントのアンケート結果では、回答者の 96%が、リスク・コミュニケーションの重要性について、「よく理解できた」または「理解できた」と回答しました。さらに、回答者の 85%が、防災や災害に対する意識について、「すごく変わったと思う」または「少し変わったと思う」と回答しました。

問合せ先

一般社団法人焼津青年会議所 法人番号：1080005005408
TEL 054-628-1518 FAX 054-629-1518 E-Mail yaizu-jc@mail.wbs.ne.jp